

令和3年度 ～M I S A T OでWORKING住まいる～

- 1 目的 地元企業で働く人とパネルディスカッションや座談会などで交流することを通じて、企業を知るとともに美郷町の新たな魅力を発見し、働くことについての理解を深める。
- 2 日時 令和3年11月19日（金）13：25～15：15
- 3 場所 六郷高校第2体育館（大体育館）
- 4 対象 六郷高校2年生（普通科・福祉科 51名）
- 5 主催 美郷町商工会
- 6 テーマ 『ここ美郷で考える「働く」ということについて』
- 7 次第

1	13：25～	開会のあいさつ
2	13：25～	美郷町PR
3	13：35～	ディスカッション（50分）
4	14：25～	休憩
5	14：35～	座談会（30分）
6	15：05～	校長謝辞
7	15：10～	閉会のあいさつ

8 ディスカッション

【テーマ】 『働く』ってなんだろう？ 働いて気付いたこと	
協力企業名	パネリスト
あきた美郷づくり株式会社	佐々木 愛 氏
株式会社小田島工務店	佐藤 海翔 氏
有限会社ミサトフーズ	小野菜々子 氏
株式会社ヤマダフーズ	会田 圭吾 氏
【コーディネーター】 株式会社齊藤光学製作所 代表取締役 齊藤 大樹 氏	

9 座談会

【テーマ】聞いてみよう『働くこと』の不安や疑問
【コーディネーター】株式会社齊藤光学製作所 代表取締役 齊藤 大樹 氏

【今日の講話全体を通して印象に残った話や言葉】

- 「責任」という言葉が印象に残りました。学生の時の責任と、社会に出てからの責任の重さには違いがあるということだったので、学生の今からそういうことを意識して生活していこうと思いました。



○働くことの不安や疑問について、実際に働いている方々のリアルなお話を聞くことができました。これから進路選択をするときに、とても役立つお話でした。

- 学生と社会人の違いのお話の中で、学生は知識をインプットするけれど、社会人は知識をアウトプットし、成果を出していくというお話が印象に残りました。このことから、将来、社会人として成果を出していくためにも、学生である今のうちにたくさん勉強しておこうと思いました。

○私は、自分の好きなことや趣味を仕事にしようと考えていましたが、今日のお話の中で、趣味を仕事にした時に、その仕事が嫌になってしまうと、同時に趣味も失ってしまうことになると考え、あえて趣味を仕事にしなかったというお話がありました。こういう考え方もあるのだと参考になりました。私もこれからこういったことも踏まえ、進路選択について考えていかなければいけないと思いました。



- 組織の一員としてというお話の中で、制服を着て活動するという事は、学校や会社にいい影響と悪い影響の両方を与えるので、先生方のお話をよく聞いて行動することが大切だと思いました。

○仕事を見つけるための目的がなかったのですが、仕事をすれば自由に使えるお金がもらえるようになるので、仕事を見つけるための目的を、早く見つけたいです。

【講話を終えて、働くことについて自分の意識はどのように変化しましたか】

- 働くことは、お金をもらうためという考えだったけれど、お客さんに喜んでもらえるような仕事をして、働くことに対するモチベーションを上げていくことも大切だと気付かされました。

○「働く＝大変」というイメージしかなかったけれど、働くことで身に付けられることもたくさんあるということがわかりました。働くというイメージが変わりました。

- 働くことは、お金をもらうことだけでなく、自分の成長や達成感を味わうことのできる場であるということがわかりました。

○分からないことや、できないことがあった時、自分から積極的に聞きにいった、知ること、できるようになるということが大事だと感じました。

- なんとなく仕事をしてお金をもらえればいいと思っていたけれど、やりがいも感じながら仕事をしていきたいと思いました。

○私はまだ自分の進路について具体的なイメージを持つことができていません。お話を伺った方々は、みんな自分の仕事に誇りややりがいを感じながら仕事をしているということが伝わってきました。私も少しずつ自分の考えをまとめていくことができるように行動していこうと思いました。